## 令和4年度 畜産食品の残留動物用医薬品検査結果

## 1. 検査検体

分類		検体数	検査結果	
			検出	不検出(陰性)
食鳥肉		5	0	5
牛肉	筋肉	25	0	25
	肝臓	25	0	25
	腎臓	25	0	25
計		80	0	80

2. 検査項目 (下線部は令和4年度から実施している項目)					
食鳥肉		抗生物質	タイロシン、 <u>ジョサマイシン</u>		
		抗菌性物質	エトパベート、オキソリニック酸、オフロキサシン、 <u>オルビフロキサシン、オルメトプリム、クロピドール、サラフロキサシン、ジアベリジン</u> 、ジフロキサシン、スルファクロルピリダジン、スルファジアジン、スルファゼタミド、スルファチアゾール、スルファドキシン、スルファピリジン、スルファベンズアミド、スルファメトキサゾール、スルファメトキシピリダジン、スルファメラジン、スルファモノメトキシン、チアンフェニコール、トリメトプリム、ナイカルバジン、ナリジクス酸、ピロミド酸、フルメキン、マルボフロキサシン、ミロキサシン		
	内寄生虫用剤	2-アセチルアミノ-5-ニトロチアゾール、 <u>ジクラズリル</u> 、 <u>フルベンダゾール</u> 、レバミゾール			
	その他	<u>キシラジン、ケトプロフェン、ジフルベンズロン</u> 、トリクロルホン、 <u>ファムフール、フェノブ</u> <u>カルブ、フルニキシン</u> 、ブロマシル、 <u>ベンゾカイン</u> 、 <u>メロキシカム</u> 、 <u>メンブトン</u>			
牛肉	筋肝腎※	抗生物質	タイロシン、チルミコシン		
		抗菌性物質	エトパベート、オキソリニック酸、オフロキサシン、 <u>オルビフロキサシン、オルメトプリム</u> 、クロ <u>ピドール、サラフロキサシン、ジアベリジン</u> 、ジフロキサシン、 <u>ジョサマイシン</u> 、スルファキノキサリン、スルファクロルピリダジン、スルファジアジン、スルファジメられるカファセタミド、 <u>スルファチアゾール</u> 、スルファドキシン、スルファニトラン、スルファピリジン、スルファベンズアミド、スルファメトキサゾール、スルファメトキシピリダジン、スルファメラジン、スルファモノメトキシン、 <u>チアンフェニコール、トリメトプリム、ナイカルバジン</u> 、ナリジクス酸、ピロミド酸、フルメキン、マルボフロキサシン、 <u>ミロキサシン</u>		
		内寄生虫用剤	2-アセチルアミノ-5-ニトロチアゾール、 <u>ジクラズリル</u> 、 <u>チアベンダゾール</u> 、レバミゾー ル		
		その他	<u>キシラジン</u> 、ケトプロフェン、 <u>ジフルベンズロン</u> 、 <u>テメホス</u> 、トリクロルホン、 <u>ファムフー</u> <u>ル、フェノブカルブ</u> 、 <u>フルニキシン</u> 、ベンゾカイン、メロキシカム、メンブトン		

※部位によって検査項目が異なります。